



世界最大の木造建築物・大屋根リング！

4 月 13 日、大阪市此花区の夢洲(ゆめしま)で 158 カ国の参加を得て、大阪・関西万博が開幕した。1970 年の大阪万博以来、国内では 5 回目の万博となる。開幕直前の 3 月 4 日、ギネス世界記録は万博のシンボルである大屋根リングを、世界最大の木造建築物(建築面積 61035.55 m²)と認定した。内径 615m、高さ 20m、幅 30m、長さ 2km の大屋根リングには屋上庭園と、回廊としての遊歩道(スカイウォーク)がある。季節の花を愛でながら、芝生で休み、万博会場を一望できる設計となっている。この大屋根には 2.4m×8m の C L T (直行集成材) 約 2,700 枚が使われている。大屋根の下も歩道(グランドウォーク)となっており、暑さや雨をしのげるという。ところが開幕初日の防風風で雨漏りが問題となった。壁が無いから風が強ければ吹き込むのは当たり前だと思ったが、実際に舗装状態の良くないところがあったようだ。使われている木材は約 27,000 m³で、国産の杉・桧が 70%、オウシュウアカマツ等・外国産材が 30%との事だ。構造は日本の伝統工法である貫工法が使われており、柱に穴を開けそこに通し貫を水平に通し、楔で固定されている。ここでは釘など金物は使っていないが、貫同士のジョイント部や他の所では金物を使用した近代建築技術との融合が見られる。

従来、軸組建築物としては東大寺大仏殿(57W×51D×49H)が最大と言われていたがこれをはるかに超えた。又大断面集成材を使った建物では大館ドーム(178W×157D×52H)がある。ちなみに大仏殿ではえびの市の白鳥神社から 9 ヶ月かけて運ばれた末口径 1M 超、長さ 23.5M の赤松 2 本が使われている(既報 328 号)。アメリカでは 1942 年に 327L、90W、58.5H の飛行船格納庫がつくられ、現在は航空博物館として使われている。又、100,000 m²の平屋倉庫などがある。CLT を使った高層ビル(20 階以上)なども外国では多数つくられ、日本でも 15 階建てマンションがある。今回の万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとしているが、木構造建築物は環境負荷の低減や持続可能性の観点から大いに注目される事を期待したい。

【情 報】

令和 7 年度木とふれあう環境づくり推進事業が始まりました！

「鹿児島県みんなの森づくり県民税」を活用した事業です。県産材の積極的な活用により、多くの人たちが木の良さを実感できる「木造施設整備や木製品開発」に関する取組を募集し助成を行います。(申込・問い合わせは 県庁・地域振興局の林務水産課・林務係)

募集期間 4/9(水)～6/27(金)

募集内容 *施設の整備 デザイン性・機能性が優れた施設の木造化、内装木質化及び木製品の設置(補助率 1/2 以内)

*木製品の開発 一般枠(補助率 1/2 以内)、学生デザイン活用枠(補助率 10/10)

【定休日】

5 月は 3, 4, 5, 11, 17, 18, 24, 25, 31 日

6 月は 1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29 日となります

宜しくお願いします



大屋根リング(インターネットより)